

症 状

原 因

抗がん剤治療

むかむかして食べられない
何を食べてもおいしくない
食欲がない
食事がつらい
体力が低下した
体重が減った

さまざまな原因により起こる

中枢性

心理的要因や神経障害により食欲中枢が抑制されて起こる

中毒性

薬物による視床下部への刺激や消化管粘膜への作用により起こる

内臓性

腸や胃、肝臓、腎臓などの機能低下により起こる

欠乏性

ビタミン（特にB群）の欠乏により、消化機能が低下したり、内分泌の障害で起こったりする

胃がむかむかする
おう吐して食事ができない
吐き気がする
以前におう吐したことから、おう吐を予測してしまう

さまざまな原因により起こる

中枢性

心理的要因や口内の不快感、嗅覚障害などがおう吐中枢を刺激して起こる

中毒性

薬物による視床下部への刺激や消化管粘膜への作用により起こる

内臓性

消化管への刺激や便秘、胃内容物停滞などにより起こる

味が薄すぎる	いつも口がまずい
何を食べても甘い	甘みを感じない
味がしない	すべてがしょっぱい
塩やしょう油がにがい	味が濃すぎる
金属のような味がする	化学調味料の味が嫌

脳に食べ物の味やにおいの情報を伝える働きをする口内の受容体細胞が薬物によって変調をきたす

口の中の粘膜障害により起こる

原因

対応

放射線治療

※ 各症状の原因となりうる照射部位を表示しています。

広範囲・多量 頭部と頸部 胸部と縦隔 腹部と骨盤

広範囲・多量 胸部と縦隔 腹部と骨盤

食欲中枢への刺激や、消化管粘膜への刺激により起こる

以後記載の症状・消化器の病変・心因性のものなどにより起こる

食欲不振

- 食欲不振の原因が明らかならば、それを改善する工夫をする
- 気分のよいときに、食べられるものを食べる
- 栄養補助食品を利用する
- 口に合う、たんぱく質豊富な食品をさがす

P.95

広範囲・多量 腹部と骨盤

おう吐中枢への刺激や、消化管粘膜への刺激により起こる

以後記載の症状・消化器の病変・心因性のものなどにより起こる

吐き気・おう吐

- 吐き気・おう吐のパターンからタイミングをみて食べる
- 少しずつ数回に分けて食べる
- 胃への負担の少ない食品を選ぶ
- 治療前に軽く食事、治療後数時間は固形物をひかえる
- おう吐がある場合、1～2時間食事をひかえる
- おう吐がある場合、水分やカリウムなどの損失を考慮して補給する
- 食べもののにおいや環境に配慮する

P.103

頭部と頸部

舌の粘膜と味蕾が変化・損傷を受けることにより起こる

味覚の変化

- 味覚の変化や症状に合わせて、味の調整をする
- うがいをしたり、あめをなめたりする

P.111

症 状

原 因

抗がん剤治療

においで気分が悪くなる
様々なにおいが気になる

脳に食べ物の味やにおいの情報を伝える働きをする口内の受容体細胞が、薬物によって変調をきたす

唾液減少、口内乾燥

口の中がねばつく 義歯が不安定になった
口がかわく 虫歯になってかめない
パサパサして、食べにくい つかえて飲み込みにくい

唾液の分泌変化により起こる

口やのどの炎症

口の中・のどがヒリヒリ痛い
からい・すっぱいものがしみる
のどにかたまりを感じる
飲み込むとき痛みを感じる
のどを通らない

分裂中の細胞を攻撃するため、特に分裂の頻繁な粘膜の細胞を傷つけ、炎症が起こる

白血球減少時、口の中に感染すると炎症が起こる

胸やけ・消化不良感
胃部の焼けるような痛み
胃のあたりが重い

胃粘膜を刺激して起こる

すぐにお腹がいっぱいになる
お腹がはって苦しい
食べ物が下がっていかない
もたれ感

胃や腸の内壁への影響で消化できず、効率よく食べ物が通過せずに、満腹感や膨満感を引き起こす

原因

対応

放射線治療

※ 各症状の原因となりうる照射部位を表示しています。

広範囲・多量 頭部と頸部 胸部と縦隔 腹部と骨盤

においの変化

- においをおさえる工夫をする
- 調理は自分でせず、調理中はその場にいらない

P.117

頭部と頸部

唾液の量が減少し、唾液が濃くなる

口やのどの炎症・口内乾燥

- 飲み込みやすく、食べやすくなる工夫をする
- こまめに水分を補給したり、氷をなめたりする
- 口の中をきれいに保つようにする

P.121

頭部と頸部 胸部と縦隔

分裂中の細胞を攻撃するため、特に分裂の頻繁な粘膜の細胞を傷つけ、炎症が起こり、口やのど、食道の表面がはれる

胃の不快感

- 消化がよく、やわらかいものを食べる
- 一度にたくさん食べず、数回に分けて食べる
- 消化がよくたんぱく質豊富な食品をこまめに食べる
- 刺激の強い食品はひかえる

P.125

胸部と縦隔 腹部と骨盤

胃の内壁への影響で消化ができず、効率よく食べ物が通過できずに起こる

膨満感

- 少しずつ、消化がよくたんぱく質豊富な食品をとる
- 炭水化物を中心に食べる
- 脂肪の多い食品・ガスが発生しやすい食品などはひかえる

P.131

胸部と縦隔 腹部と骨盤

胃や腸の内壁への影響で消化ができず、効率よく食べ物が通過できずに起こる

※ 腸閉塞や腹水による場合もあるので、注意が必要

症 状

原 因

抗がん剤治療

便・ガスがでない
お腹がはって痛い

腸への神経伝達が遅れることにより起こる

食べてもすぐに下痢になる
下痢で体力が消耗する

消化管粘膜が損傷を受けることにより起こる

呼吸困難

食事をするのが息苦しい

肺組織が損傷を受けることにより起こる

開口障害

口が開けにくい
口が開かずに食べられない

骨髄中の白血球が損傷を受け、減少することにより起こる

原因

対応

放射線治療

※ 各症状の原因となりうる照射部位を表示しています。

広範囲・多量 頭部と頸部 胸部と縦隔 腹部と骨盤

便秘

- 食物繊維を多く含む食品をとる
 - 水分補給を心がける
 - 高脂肪の食品をひかえる
 - 乳酸菌を含む食品をとる
- ※ 腸閉塞による場合もあるので、注意が必要

P.137

広範囲・多量 腹部と骨盤

消化管粘膜が刺激や損傷を受けることにより起こる

下痢

- 室温程度の水分やカリウムを十分にとる
- 低脂肪でたんぱく質豊富な食品の摂取を心がける

P.143

胸部と縦隔

肺組織が損傷を受けることにより起こる

頭部と頸部

口の炎症などで、咀嚼・開口が障害されることにより起こる

呼吸困難・開口障害

- かみくだいたり、飲み込んだりしやすい工夫をする
- 水分を補給する

P.147

広範囲・多量

骨髄中の白血球が損傷を受け、減少することにより起こる

白血球減少

- ※ 極端な白血球（好中球）の減少がない限り、通常の衛生管理でかまいません
- ※ 白血球減少に関しては、担当医にご相談ください

P.151

